

= 業界情報 =

峡北自動車整備協業組合創立40周年記念式典並びに祝賀会が開催されました

同組合は、峡北地域の自動車ユーザーを対象とし、適正な整備により地域ユーザーからの信頼のもと、安定した需要と経営の安定を図り、併せて自動車の安全性と公害の防止を寄与することを目的として地域内の13事業者により昭和52年1月に設立されました。

この間、組合の経営は経済情勢に左右されながらも、現在は組合員14事業者をもって本年40周年を迎えました。

つきましては、2月25日（土）北杜市八ヶ岳ロイヤルホテルにおいて、創立40周年記念式典並びに祝賀会が、来賓・組合員等約70名が出席され盛会に開催されました。



今月の配布物について

国土交通省では、2019年に開催されるラグビーワールドカップに向けた国民的機運の醸成や意識の高揚を図る観点から発行する「ラグビーワールドカップ特別仕様ナンバープレート」の交付申請の事前申込みを、全国の希望者に対して平成29年2月13日（月）より開始することになりましたので、お知らせします。

また、販売期間は、平成29年4月3日（月）からとなります。
詳細は、下記の各ホームページを参照して下さい。

- ・ ナンバーのWEB申込みに関するHPアドレス

<http://www.graphic-number.jp>

- ・ 寄付金に関するHPアドレス（公益財団法人日本デザインナンバー財団HP）

<http://www.d-number.or.jp>

- ・ ポスター 各工場1枚 ・ チラシ 各工場1枚

大型貨物自動車の速度抑制装置に係る改変の防止について

標記について、関東運輸局山梨運輸支局長から下記のとおり通知がありましたので、お知らせします。

大型貨物自動車の速度抑制装置の不正改造に絡みLジョイントをインターネットで販売した被疑者（運送事業者に勤務する運転者）が、落札者の道路運送車両法（不正改造）違反と道路交通法（速度超過、速度抑制装置整備不良車運転）違反を幫助したとして、逮捕される事案が発生しました。また、落札者のトラック運転者3名も事件送致されています。

Lジョイントの装着やパルス整合器の調整は、タイヤサイズ又は動力伝達装置の減速比の変更がなされた場合に限り、速度計の指示を適切に補正するため、自動車制作者が定めた作業要領等に基づき、速度抑制装置の機能を損なわないよう、細心の注意を払って行うべきものであります。

Lジョイントの不適切な装着やパルス整合器の不適切な調整により速度抑制装置の不正改造等を行った者等については、整備事業者の場合には道路運送車両法に基づき、行政処分を行うことはもとより、道路運送車両法第99条の2（不正改造等の禁止）の違反について厳正な処分を行うこととなります。

使用者や運転者からの依頼であっても不適切なLジョイントの装着やパルス整合器の不適切な調整により速度抑制装置の機能を損なう改変を行うことのないよう、徹底をお願いします。

三菱ふそうトラック・バスのリコールのお知らせ

三菱ふそうトラック・バス株式会社製（以下、三菱ふそう）の大・中型バスの車両床下部の腐食点検について、三菱ふそうから国土交通大臣に対して、リコールの届出（別添1、別添2）がありましたので、下記のとおりお知らせします。

1. 概要

前輪独立懸架方式の大・中型バスにおいて、センターメンバーの製造が不適切なため、センターメンバー内部に融雪剤等を含んだ水が浸入し、ロアアーム取付部付近が腐食することがある。

そのため、そのままの状態で使用を続けると、腐食が進行し、センターメンバーが破損して、最悪の場合、ロアアームが脱落して操舵不能となるおそれがある。

2. 改善措置の内容

恒久措置の検討に時間を要することから、全車両、暫定措置としてセンターメンバーに内部点検用の穴を開け、内視鏡を用いて内部腐食状態の点検を行う。

① 著しい腐食が認められた場合は改良品のセンターメンバーに交換する

② 著しい腐食が認められなかった場合は防錆措置を実施する

※改良品の供給に時間を要することから、供給の準備ができ次第、順次交換する。

3. リコールの届け出情報

① 国土交通省ホームページ

http://www.mlit.go.jp/report/press/jidosha08_hh_002543.html

② 三菱ふそうトラック・バスホームページ

<http://www.mitsubishi-fuso.com/jp/news/recall/170214/4001.html>

連絡先 自動車局 審査・リコール課 リコール監理室
TEL 03-5253-8111 内線42354
アドレス: <http://www.mlit.go.jp>

別添1

リコール届出一覧表

リコール届出日: 平成29年2月14日

リコール届出番号	4001	リコール開始日	準備でき次第
届出者の氏名又は名称	三菱ふそうトラック・バス株式会社 問い合わせ先: お客様相談センター 代表取締役社長 マーク・リストセーヤ TEL 0120-930-397		
不具合の部位(部品名)	緩衝装置の取付部(センターメンバー)		
基準不適合状態にあると認める構造、装置又は性能の状況及びその原因	前輪独立懸架方式の大・中型バスにおいて、センターメンバーの製造が不適切なため、センターメンバー内部に融雪剤等を含んだ水が浸入し、ロアアーム取付部付近が腐食することがある。そのため、そのままの状態で使用が続けると、腐食が進行し、センターメンバーが破損して、最悪の場合、ロアアームが脱落して操舵不能となるおそれがある。		
改善措置の内容	恒久措置の検討に時間を要することから、全車両、暫定措置としてセンターメンバーに内部点検用の穴を開け、内視鏡を用いて内部腐食状態の点検を行い、 ①著しい腐食が認められた場合は改良品のセンターメンバーに交換する ②著しい腐食が認められなかった場合は防錆措置を実施する なお、改良品の供給に時間を要することから、供給の準備でき次第、順次交換する。 また、早急に恒久措置を検討し、決定次第、速やかに恒久措置を実施する。		
不具合件数	9件	事故の有無	人身3件
発見の動機	国土交通省からの指摘による。		
自動車使用者及び自動車分解整備事業者に周知させるための措置	<ul style="list-style-type: none"> ・使用者: ダイレクトメールまたは直接訪問して通知する。 ・自動車分解整備事業者: 日整連発行の機関誌に掲載する。 ・改善実施済車には、運転者席左側ドア開口部シリアルナンバープレート付近にNo. 4001のステッカーを貼付する。 		

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号の範囲及び製作期間	リコール対象車の台数	備考
三菱	U-MJ628F	「ふそう エアロミディ」	MJ628F-20001～MJ628F-20514 平成5年9月21日～平成7年8月28日	509	
	U-MK626J		MK626J-20001～MK626J-20072 平成5年9月21日～平成7年8月11日	71	
	U-MK628F		MK628F-20001～MK628F-20009 平成5年10月27日～平成7年6月21日	9	
	U-MM826H	「ふそう エアロバス」	MM826H-20001～MM826H-20355 平成5年9月20日～平成7年8月25日	353	
	U-MS821P		MS821P-20008～MS821P-20045 平成5年9月30日～平成7年8月24日	29	
	U-MS821PA	「ふそう エアロクイーン」	MS821P-20002～MS821P-20039 平成5年9月27日～平成7年3月10日	15	
	U-MS826N	「ふそう エアロバス」	MS826N-20001 平成7年6月13日	1	
	U-MS826P		MS826P-20001～MS826P-20014 平成6年3月31日～平成7年5月16日	14	
	U-MS826S		MS826S-20001～MS826S-20006 平成6年6月21日～平成7年7月12日	6	
	KC-MJ629F	「ふそう エアロミディ」	MJ629F-24001～MJ629F-25213 平成7年6月2日～平成11年8月25日	959	
	KC-MK622J		MK622J-24001～MK622J-25014 平成7年6月9日～平成11年7月27日	72	
	KC-MK629F		MK629F-24001～MK629F-25001 平成7年12月25日～平成10年9月21日	8	

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号 の範囲及び製作期間	リコール 対象車の台数	備考
三菱	KC-MM822H	「ふそう エアロバス」	MM822H-24001～MM822H-25225 平成 7 年 6 月 20 日～平成 11 年 8 月 26 日	549	
	KC-MS822P		MS822P-24001～MS822P-26174 平成 8 年 6 月 26 日～平成 12 年 6 月 23 日	232	
			「ふそう エアロクイン」	MS822P-15001～MS822P-26173 平成 10 年 5 月 21 日～平成 12 年 6 月 27 日	160
	KC-MS822PA	「ふそう エアロバス」	MS822P-25006～MS822P-26161 平成 10 年 3 月 18 日～平成 12 年 6 月 21 日	48	
			「ふそう エアロクイン」	MS822P-15002～MS822P-26070 平成 10 年 8 月 30 日～平成 12 年 2 月 26 日	5
	KC-MS829M	「ふそう エアロバス」	MS829M-24001～MS829M-26012 平成 8 年 5 月 7 日～平成 12 年 6 月 23 日	34	
	KC-MS829N		MS829N-24001～MS829N-26001 平成 9 年 1 月 18 日～平成 11 年 9 月 3 日	15	
	KC-MS829P		MS829P-24001～MS829P-26238 平成 8 年 1 月 18 日～平成 12 年 6 月 27 日	542	
	KC-MS829PA		MS829P-25027～MS829P-26134 平成 10 年 3 月 28 日～平成 12 年 3 月 15 日	74	
	KC-MS829S		MS829S-24001～MS829S-26003 平成 8 年 3 月 14 日～平成 12 年 4 月 17 日	23	
	KK-MJ26HF	「ふそう エアロミディ」	MJ26HF-20001～MJ26HF-22101 平成 11 年 7 月 12 日～平成 16 年 8 月 25 日	489	
	KK-MJ26RF		MJ26RF-24001～MJ26RF-24002 平成 18 年 11 月 24 日～平成 18 年 12 月 12 日	2	
	KK-MK26FJ		MK26FJ-20001～MK26FJ-22020 平成 11 年 8 月 20 日～平成 16 年 12 月 21 日	87	
	KK-MM86FH	「ふそう エアロバス」	MM86FH-20001～MM86FH-21086 平成 11 年 8 月 8 日～平成 16 年 8 月 27 日	588	
	KL-MS86MM		MS86MM-20001～MS86MM-23008 平成 12 年 7 月 4 日～平成 17 年 5 月 16 日	50	
	KL-MS86MN		MS86MN-20001～MS86MN-23006 平成 12 年 8 月 23 日～平成 17 年 3 月 24 日	12	
	KL-MS86MP		MS86MP-20001～MS86MP-24213 平成 12 年 7 月 5 日～平成 17 年 9 月 20 日	2,725	
		「ふそう エアロクイン」	MS86MP-20002～MS86MP-24203 平成 12 年 6 月 30 日～平成 17 年 9 月 6 日	403	
	KL-MS86MS	「ふそう エアロバス」	MS86MS-20001～MS86MS-23026 平成 12 年 8 月 4 日～平成 17 年 7 月 26 日	85	
	PA-MJ26RF	「ふそう エアロミディ」	MJ26RF-23001～MJ26RF-24139 平成 17 年 10 月 26 日～平成 19 年 8 月 10 日	248	
	PA-MK26FJ		MK26FJ-23001～MK26FJ-27032 平成 16 年 11 月 26 日～平成 19 年 8 月 10 日	127	
	PA-MM86FH	「ふそう エアロバス」	MM86FH-22001～MM86FH-27031 平成 17 年 10 月 27 日～平成 19 年 8 月 28 日	170	
	PJ-MS86JP		MS86JP-25001～MS86JP-26327 平成 17 年 10 月 13 日～平成 19 年 8 月 24 日	795	
			「ふそう エアロクイン」	MS86JP-25024～MS86JP-26322 平成 17 年 11 月 9 日～平成 19 年 8 月 20 日	53
	(計 32 型式)	(計 3 車種)	(製作期間の全体の範囲) 平成 5 年 9 月 20 日～平成 19 年 8 月 28 日	(計 9,562 台)	

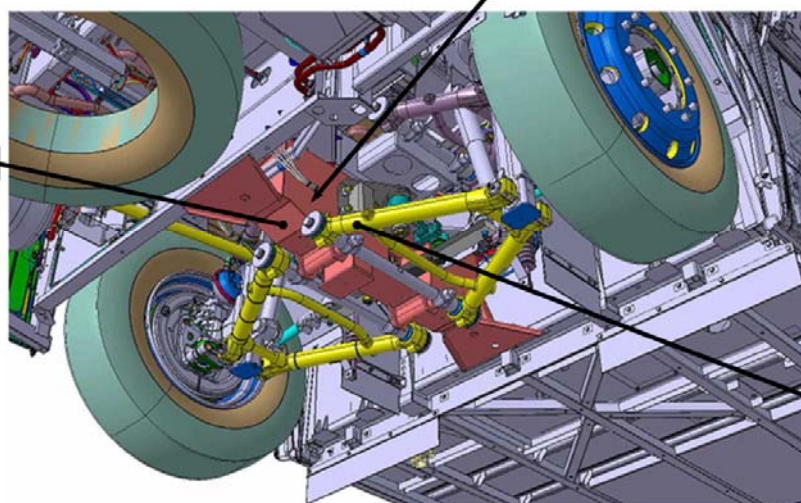
【注意事項】 リコール対象車の車台番号の範囲には、対象とならない車両も含まれている場合があります。

改善箇所説明図



基準不適合発生箇所

センターメンバー



ロアアーム

前輪独立懸架方式の大・中型バスにおいて、センターメンバーの製造が不適切なため、センターメンバー内部に融雪剤等を含んだ水が浸入し、ロアアーム取付部付近が腐食することがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、腐食が進行し、センターメンバーが破損して、最悪の場合、ロアアームが脱落して操舵不能となるおそれがある。

改善措置の内容

恒久措置の検討に時間を要することから、全車両、暫定措置としてセンターメンバーに内部点検用の穴を開け、内視鏡を用いて内部腐食状態の点検を行い、

- ①著しい腐食が認められた場合は改良品のセンターメンバーに交換する
- ②著しい腐食が認められなかった場合は防錆措置を実施する

なお、改良品の供給に時間を要することから、供給の準備でき次第、順次交換する。

また、早急に恒久措置を検討し、決定次第、速やかに恒久措置を実施する。

注：□ は、交換部品を示す。

識別：作業完了車には、車両左後方点検リッド裏の位置に「HB179」の文字が記載された白黄色のシールを貼り付ける。

自動車検査・登録窓口 混雑予想カレンダー

平成29年3月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	🙄 10	11
12	🙄 13	🙄 14	🙄 15	🙄 16	🙄 17	18
19	20	🙄 21	🙄 22	🙄 23	🙄 24	25
26	🙄 27	🙄 28	🙄 29	🙄 30	🙄 31	

 混雑が予想されます
  大変な混雑が予想されます

3月下旬は、毎年、自動車の検査・登録の申請が非常に多く、手続き等で長時間お待ちいただくことがあります。比較的混雑の少ない3月上・中旬に自動車の検査・登録の申請を済ませていただきますようご理解・ご協力をお願い致します。



国土交通省関東運輸局山梨運輸支局
独立行政法人自動車技術総合機構
関東検査部山梨事務所

混雑予想のお知らせ

申請や検査はできるだけ混雑予想日を避けていただきますようご協力をお願い致します

毎年3月は各種申請や検査が増加します。中でも週末と下旬は特に集中するため窓口や検査場が非常に混雑します。できるだけ混雑予想日を避けてお手続きいただきますようご協力をお願い致します。

2017年 3月 混雑予想日						
やや混雑		混雑		※ 赤表示日は業務を行っておりません		
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	



軽自動車検査協会 山梨事務所

お願い～OCRの記載について～

平成29年4月から保安基準適合証及び自動車損害賠償責任保険証明書の電子化が開始されることに伴い、関連するOCRシートに証明書指示欄が追加されました。

平成29年4月からは、これまでどおり保安基準適合証及び自動車損害賠償責任保険証明書の電子化を利用せずに新規検査、継続検査、予備検査（保安基準適合証のみ）、の申請を行う場合には、証明書指示欄に以下に該当する番号を記載することとなります。

つきましては、自動車検査証の交付等を円滑に行うため、証明書指示欄に番号の記載をお願いします。

＜指定整備工場の方＞

保安基準適合証の電子化を利用せずに、これまでと同様に申請される場合には、証明書指示欄に「**1**」を記載してください。

④ 証明書指示

1

1 保・自提出
2 保適証提出
3 自賠償提出

＜持込検査の方＞

自動車損害賠償責任保険証明書の電子化を利用せずに、これまでと同様に証明書を提示される場合には、証明書指示欄に「**3**」を記載してください。

④ 証明書指示

3

1 保・自提出
2 保適証提出
3 自賠償提出

※ご不明な点は、窓口職員にお問い合わせください。

【相談】

内容：中古部品を使用した修理に納得いかない

- ・車名：乗用車 ・登録年月：平成17年 ・走行距離：16,000km
- ・相談日 平成27年12月10日

8月下旬頃、車を購入したP社A店に定期点検整備を依頼した。点検が終了したとの連絡が入ったので、A店に出向いた。車を引取り自宅へ戻る途中、エンジンルームから金属音がしたが、急いでいたのでそのまま帰宅した。

すぐに、A店の担当営業マンに電話したところ、「後日時間がある時に車をまた持ってきてください」と言われたので、翌週車両を持参した。担当整備士と営業マンが同乗し異音の確認をして貰ったところ、現象が出ているのでそのまま車を預けた。

12月になって突然、「車が出来上がりましたので確認して欲しい」と工場長から電話があったので原因は何だったのかと尋ねたところ、「エンジンオイル量不足によりエンジンが焼き付いてしまった。

当方のミスであり大変申し訳なかった」との事であった。

後日、工場長がお詫びに来た際に再度詳細を聞いたところ、「生産終了のエンジンだったので、中古のエンジンブロックを使い組み上げていった為に時間を要し納期が遅くなってしまった」との説明を受けた。納得がいかないので相談してきたとの事である。

【対応】

相談者には、「営業マンの初期対応に問題があった可能性もありますが、何より故障状態の確認を担当整備士が確認しているにもかかわらず、工場側が進捗状況を知らせなかったことにも問題があるようです。

K氏（相談者）もなかなか仕事も忙しかったようですが、整備進捗状況確認の一報も入れてみても良かったのでは・・・？」と意見をした。

また、「中古のエンジン使用に不満があるとの事ですが、要望の新品エンジンは生産台数が少ない希少車であり、年式の関係でおそらく手配がつかなかったのではないかと思います。

しかし、お話できなかった別の理由等が何かあると思われますので、意見要望をP社サービス本部に申し入れをして、納得のいくような説明ができるように依頼します」と約束して、電話を切った。

早速、上記の件でサービス本部に相談したところ、至急調査して相談者と調整し対処したいとの事であった。

ABS モジュールタのエア排気モードについて

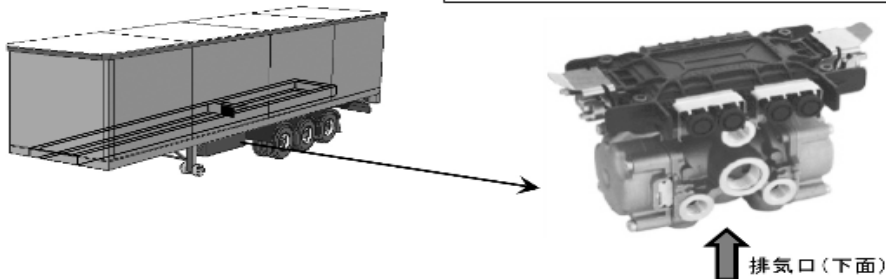
ワブコジャパン株式会社

ワブコ・トレーラ用 ABS モジュールタは特定の条件において、本体の排気口より微量のエアが一定時間にわたり排出される場合があります。これは、本体のバルブに入力されるサービスライン圧力と、ブレーキチャンバ内の圧力とのバランスを取るための作動であり、製品の不具合や異常ではありませんので注意願います。また、この作動により、トレーラのエアタンクのエアが消費されることはありません。

■ 対象部品

WABCO VCS II ボクサータイプ

品番：400 500 070 0 および 400 500 081 0



■ エア排気モードの発生メカニズム

トラクタのブレーキペダルを強めに踏み込み、その後、駐車ブレーキを作動させた状態でブレーキペダルを開放すると、駐車ブレーキ圧力が低く設定されているトラクタの場合、ブレーキペダルの作動圧力と駐車ブレーキの作動圧力に差が発生し、ABS 本体の排気口からブレーキチャンバのエアが排出されます。ABS モジュールタは、サービスラインとブレーキチャンバの圧力差が大きい(およそ0.2MPa 以上)場合はエアを一気に排出しますが、圧力差が小さくなるにつれてエア排気がゆっくりと進行します。さらに圧力差が極めて小さく(およそ0.05MPa 程度)なった場合、微小な排気が最大で10分程度継続することもあります。

■ エア排気モードの確認方法

エア排気モードとエアブレーキ系統のエア漏れとの区別が難しい場合には、次のステップで確認して下さい。トラクタの駐車ブレーキを一旦解除し、再度作動させ排気が止まれば正常と判断できます。

<エア排気モードの確認ステップ>

